

場 所 阿仁ふるさと文化センター
内 容 作品展示、ステージ発表

演 示 日 時 11月16日(日) 10時～15時
展 示 期 間 11月15日(土)、16日(日) 9時～15時

場 所 合川中学校体育館
講 師 竹下 和男 氏
 (前 香川県綾上中学校長)

日 時 11月23日(日) 12時30分～15時40分
 (受付12時～)

阿仁文化交流のつどい

阿仁公民館 ☎82・2220



場 所 森吉公民館 ☎72・3259
展 示 期 間 11月16日(日)～12月末
内 容 森吉コミュニティセンター
 各団体のステージ発表、作品展示、食堂など

演 示 日 時 11月16日(日) 10時～14時30分

もりよし文化交流会

森吉公民館 ☎72・3259

森吉地区を中心に活動する方たちが出演・出展する「もりよし文化交流会」を開催します。皆さんのご来場をお待ちしています。

パソコンで年賀状づくり講座

合川公民館 ☎78・2114



パソコンを使っての年賀状づくりに挑戦しませんか。

日 時 11月18日(火)、20日(木) 18時30分～20時30分

場 所 上杉あいターミナル

講 師 田中俊生 氏

定 員 10人

参加費 1000円(テキスト代)

申込締切 11月10日(月)

※2日間で1回の講座となります

合川中学校家庭教育講演会

合川生涯学習課 ☎62・1130

「自立するということ」

「食」と「いのち」の大切さや、将来自立した大人になるための「生きる力」について、学び、考え、行動につながる家庭教育講演会です。皆さんのご参加をお待ちしています。

日 時 11月23日(日) 12時30分～15時40分
 (受付12時～)

場 所 合川中学校体育館

講 師 竹下 和男 氏
 (前 香川県綾上中学校長)



学びの広場

地域で学び、活動する
 皆さんを応援します
 北秋田市教育委員会

- 公民館活動
- 生涯学習
- 文化振興
- 学校
- スポーツ



「ココロが楽になる魔法のことば」

～中央公民館・グッドライフ講座～

中央公民館「グッドライフ講座」が、10月16日に行われ、大館市のファミリーネットワーク代表の村岡昇氏が「ココロが楽になる魔法のことば」と題して講話しました。

村岡氏は講話の中で「ココロには入口と出口があり、色々なことが出入りしてる。ココロの中は見ることができないが、ココロの中で起きていることは、『気持ち』として表れる」とし、よい子を演じたことにより、ストレスで心が風船のように膨らんで破裂した例にふれながら、親として今できること、子

どもを受け止めることの大切さや、心が楽になるためのヒントなどについて学びました。



▲熱心に講演を聴く受講生

合川まど火交流プロジェクト2014

～子ども交流事業・山田町編～

子ども交流事業が、10月18日に岩手県山田町で行われ、合川中学校の生徒や保護者、婦人会の方々がボランティア活動などを行いました。

この事業は、昨年山田町で伝統行事「合川まど火」や料理のだまこ鍋で交流したことを機に、友情が深まり実施されたものです。

参加者は、174世帯ある仮設住宅で花壇整備や施設見学のほか、県立山田病院の平泉宣副院長（大館市出身）の講話を聴き、国立市や学校祭での募金活動の義援金全額を鈴木善幸記念教育基金に寄付しま

した。達成感を感じたと話す子どもたちの目は輝いて、次回も参加したいと感想が述べられました。



▲生徒たちが集めた義援金を手渡しました

森吉四季美湖紅葉まつりで熱演！

～森吉中学校吹奏楽部～

10月19日に森吉山ダム広報館をメイン会場として催された「森吉四季美湖紅葉まつり」のステージイベントに、森吉中学校吹奏楽部が出演し、会場に集まった多くの観客を魅了しました。

部員は現在13人。3度目の出演となる今回は、おそろいのTシャツに身を包み演奏する姿が清々しく、懐メロメドレーや生徒の歌唱による「アナと雪の女王」、「情熱大陸のテーマ」等、人数を感じさせないパワフルな演奏を披露しました。

毎日の練習の成果を「地域のステージ」で発表し、

地域貢献活動を進めている部員たちに会場からは大きな拍手が送られました。



▲パワフルな演奏を披露する部員たち

ふるさとの文化財

80

北秋田市指定無形民俗文化財 (民俗芸能)

〇「ヤマヤマ」

◇所在地 北秋田市米内沢本郷
 ◇管理者 米内沢神社

◇内容

米内沢本郷地区に伝わる習俗で、8月24日の夜に小中学生が神社に集まり、学業成就や高校合格などを祈願し、笛や太鼓とともに、境内に飾ってある高さ2丈5尺の灯籠を先頭に、山車を引いて町内を練り歩きます。

◇起源

旧暦6月24日、七座天神祭の夜に、灯籠を先頭に馬鹿囃子と共に町内を練り歩いたのが始まりで、昔はこの後、作踊り(豊作祈願)を踊り歩いたと言われています。

山車の灯籠は、4段の絵灯籠の上にさらに菅原神社と書いた宮形灯籠を取りつけてあるので「ヤマヤマ(轟山)」の名になったと言われています。

◇構成

毎年、地区内の中学三年生の男子が「轟山執行団」となり、灯籠の製作から巡行までを取り仕切り



▲ ヤマヤマ

ます。神社で祭式を行なったあと、地区内の子どもたちが「ワッショイ」のかけ声をかけながら絵灯籠の山車を引き、神社を出発して地区内を巡行します。

◇菅原神社 米内沢神社の境内にあり、学問の神様と呼ばれている菅原道真(平安前期の貴族・学者)を祭っている神社です。

◇開催日時 現在では8月24日の午後5時から菅原神社例祭を行い、午後6時から「ヤマヤマ」が巡行されます。

◇北秋田市の民俗文化財の中では他に例を見ない珍しい習俗で、ぜひ市民俗芸能大会へ出演し、さらなる振興・発展に期待します。